

協議会取組広報冊子（案）

制作の趣旨：協議会の取組み全体を明るく前向きなイメージで発信し、ビジョンの取組みを地域内外の人々とわかりやすく共有するためツールを作る。

- 教育復興を軸とする絆づくりにつなげる。
- 設立準備中の中高一貫校への関心を高める。

発行の見通し：2014年3月末刊行を初号とし、3ヶ月に1度の季刊発行を想定。

「ふたばからのおたよりです」初号 表紙イラスト



検討中のロゴマーク



現在制作中の誌面（今後、デザインの変更あり）

未 来 に つ い て 話 そ う

**これからの教育を皆で考える
子供未来会議を行いました。**

「双葉郡教育復興ビジョン推進協議会」では、双葉郡のすべての子どもと大人が双葉郡の教育復興について考え、対話する場として、平成25年9月から10月にわたり「子供未来会議」を開催してきました。会議と言っても堅苦しくなく、自由で楽しい雰囲気です。児童・生徒、保護者、

教師や教育者も一緒にテーブルを囲んで、双葉郡のこれからの教育や理想の学校について話し合い、模造紙にペンで互いの言葉を書きとめます。最後に発表を行って、すべての声を一枚の紙にまとめて終了。新しい教育をつくる、希望あふれる場になりました。

**外国の人たちと
交流しながら、復興に向けた
活動を世界に
発信していきたい。**

長崎は海外では有名な観光地。外国人の目を楽しませたい。

国際交流員（英語）も、外国人の目を楽しませたい。

**子どもも大人も、
本音を話せる場を
もつことが
大切だと思う。**

双葉郡の教育者も、子どもたちも本音を話せる場を大切にしたい。

**見つけた夢を自分で
叶えていくために、
自分の力で考えて行動できる
授業を受けたい。**

夢は自分で叶えていくために、自分の力で考えて行動できる授業を受けたい。

**学校と生活の場には、
自分なりの夢を見つけられる
「小さな窓」が
たくさんあってほしい。**

学校と生活の場には、自分なりの夢を見つけられる「小さな窓」がたくさんあってほしい。

**未来に誇れる
まちづくりをしたいから、
地域の歴史と伝統文化に
ついて学びたい。**

未来に誇れるまちづくりをしたいから、地域の歴史と伝統文化について学びたい。

**学校は、地域の人たちが
集まれる
場所になるといい。**

学校は、地域の人たちが集まれる場所になるといい。

**子どもたちの声、皆さんの声
が新しい教育作りに生かされます。
「子供未来会議」は今年度も開催予定で、ぜひ一緒に、
双葉の教育の未来を考えましょう。**

子どもたちの声、皆さんの声が新しい教育作りに生かされます。「子供未来会議」は今年度も開催予定で、ぜひ一緒に、双葉の教育の未来を考えましょう。

ふ た ば の 授 業 で す

**地域を学ぶ、アクティブな授業
ふるさと創造学が始まります。**

「ふるさと創造学」は、双葉郡の学校が独自に行う、自分たちのふるさとの魅力を知り、復興に向けて発信するための授業です。この春、平成26年度から、「総合的な学習の時間」の授業を使って双葉郡日野町の学校で取り組んでいきます。具体的には、ふるさとの伝統文化を学んだり、地域の大人や企業の人、外国人などから話を聞いたり、地域のことを調

**新聞記者
になりました。**

大好きな、地域の日報「なみえびき」へのインタビューをみんなで出し、新聞づくりをしました。

**伝統工芸
を体験**

浪江の伝統工芸「大塚相馬焼」の職人さんを訪ね、ふるさとのお話を聞きながら、餅づくりを体験しました。

**未来の
浪江町の模型
を作りました。**

早稲田大学の学生さんたちに協力してもらい、30年後を想像して、未来の浪江町の模型を作りました。

ふるさと創造学

浪江町立浪江小学校では、こんな授業をしています。

「ふるさと創造学」のモデルとして、浪江町立浪江小学校が取り組むための「ふるさとなみえ科」という授業。二本松の桜校舎に集まった子どもたちと一緒に、ふるさとについてさまざまな体験を通じて学んでいます。

ふるさと創造学

自分たちが住んでいる町を思い出しながら、大きな地図を作りました。どんな施設があったかも知りました。

ふるさと創造学

ふるさと創造学

ふるさと創造学

ふるさと創造学

今年度は、各校で取り組む「ふるさと創造学」の発表会も行います。いよいよこの春から、双葉郡日野町の各学校で取り組まれる「ふるさと創造学」。今年度中に、折々学習の発表会を行うことも予定しています。（※写真は浪江町立浪江小学校です。）